

研究・調査報告書

報告書番号	担当
273	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳)	
Sexual behaviors and drinking patterns among middle school and high school students in southeastern North Carolina. ノースカロライナ南西部の中・高校生における性的行為と飲酒パターンについて	
執筆者	
Kim-Godwin YS, Clements C, Bullers S, Maume M, Demski E.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
J Sch Nurs. 2007 Aug;23(4):214-21.	
キーワード	
飲酒に関する教育、飲酒、性的行為、性教育、Youth Risk Behavior Survey	
要 旨	
<p>目的： 青少年の性的行為と飲酒における最近の傾向は、公衆衛生上の危険になっていると思われるので、この分野での更なる研究が必要である。</p> <p>方法： 本研究では、断面研究の手法を用いて、ノースカロライナ州南西部の中学生 619 人と高校生 375 人の性的行為と飲酒行動について研究した。</p> <p>結果： あらゆる飲酒パターンの飲酒と性的行為の間に強い関連があることが示された。さらに、中学生と高校生の両方で、性経験とコンドーム使用について、いくつかの人口統計学的因子および行動因子が影響しているかについて分析すると、飲酒と人種と年齢はすべての生徒で性経験と関連した。また性別は中学生で有意な相関が見られた。AIDS 教育を含む測定因子すべてにおいて、性的行為に積極的な生徒のコンドーム使用を有意に増加させることはなかった。</p> <p>結論： この結果は、性および飲酒教育の方法と内容の再評価が必要であること、これらの介入が中学生または中学入学前から開始すべきであることを示唆している。</p>	